

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号**運用状況のご報告**

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本ファンドシリーズについて直近の状況をご報告申し上げます。

【本通知の要約】

- 2022年8月31日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド(1号~5号)に関する報告書」で、貸付先グループ(後述)が返済原資を確保する有力な手段を、すでに基本合意に至っていたMA社(後述)へのデータベース納入とお伝えしておりました。しかしその後、契約の詳細部分で折り合えず、貸付先グループがMA社との交渉を中断したことが判明しています。
- 貸付先グループは、MA社に代わる納入先として、IM社(後述)との間で取引開始に合意し、2023年半ばから継続的に収益を得る見込みです。当社は貸付先グループとの間でその収益の一部を本ファンドシリーズに関する返済に充当することに合意しており、2023年半ば以降、少額ながら回収を再開できる見込みです。
- 当社は貸付先グループに対し、IM社との取引に加えて、出資による資金調達およびデータベース売却も含めたアプローチによって返済原資を確保するよう要請を続けております。

【出資対象事業の概要】

本ファンドシリーズは、クラウドクレジット・ファンディング合同会社がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdcredit Estonia OÜ (以下「エストニアグループ会社」といいます) に対して貸付けを行いました。そのうえで、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited (以下「CPD社」といいます) へ貸付けを行いました。CPD社への貸付に対しては、CPD社の100%親会社で、アメリカ合衆国でセキュリティ事業を行う CAPTIS INTELLIGENCE INC. (以下「Captis社」といいます) が債務保証を行っております。以下では、CPD社と Captis社を合わせて、「貸付先グループ」といいます。

Captis社は、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースを商品として取り扱うベンチャー企業です。米国の法執行機関(FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など) がそれぞれに保有する犯罪者の顔写真を統合して独自のデータベースを構築し、セキュリティ企業や防犯カメラ製造企業、防犯カメラのシステム

管理企業、小売店舗などに納入しています。Captis 社のデータベースは顔認証機能付きの防犯カメラと連結され、万引きや強盗といった犯罪の防止および検挙に役立てられます。

【前回報告書から現在までの状況】

2022年8月31日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド(1号~5号)に関する報告書」にて報告してから現在に至るまでの状況は以下の通りです。

<データベースの納入状況>

貸付先グループは、米国の小売事業者、セキュリティ事業者等とデータベース取引の交渉を続けております。上記の2022年8月31日付のお知らせにおいて、貸付先グループがセキュリティ事業者 MA 社との交渉で基本合意に至った旨を報告しましたが、その後契約の詳細部分で合意できずに交渉を中断したことが判明しました。貸付先グループのデータベースが米国各州の個人情報保護関連の法令に沿うものかどうかという点、および金銭面の条件で MA 社が最終的な結論を出せず、当面は協議を中断せざるを得なかったとの報告を受けております。

一方で、2022年10月、貸付先グループはセキュリティ事業者 IM 社との間でデータベース取引条件に合意しました。今後、IM 社のシステムに貸付先グループのデータベースを搭載する作業を経て、2023年半ばから継続的に収益を得る見込みです。

<出資交渉の状況>

貸付先グループは、事業開始から現在に至るまで、運転資金確保のために定期的に個人投資家の出資を募ってきました。現在も貸付先グループは複数の個人投資家と出資交渉を実施していますが、MA 社へのデータベース納入が難航したことなどから、いまだ出資の確約を得られていません。

<貸付先グループの事業運営状況>

現在貸付先グループは、既存顧客から定期的に支払いを受けるデータベース利用等の料金を事業運営資金としています。しかし、運転資金が十分でないために規模の縮小を余儀なくされています。IM 社への納入を除いて新規顧客への営業活動を大幅に縮小するとともに、既存顧客へのサービス提供を中心に活動を限定しています。

事業運営の不透明感が高まるなかで、2022年3月には仲介業者を起用し、データベースや事業そのものの売却も含めたアプローチによって本ファンドシリーズの返済原資確保に努めています。

【返済見通しおよび今後の対応】

- 2023年1月時点において、本ファンドシリーズの返済見通しは、MA社へのデータベース納入交渉の中断や出資先探しの難航を受けて一段と不透明な状況となっています。
- 2022年10月、貸付先グループはMA社に代わる取引先としてIM社とのデータベース納入に合意しました。IM社からは2023年半ば以降継続的に収益を得る見込みであり、かかる収益が本ファンドシリーズへの返済に充当される予定です。しかしながら、IM社からの収益はデータベースの参照回数に比例するもので月次の変動があることや、現時点で見込まれるおよその入金額を考慮すると、本ファンドシリーズの返済が再開されても毎月少額の部分的なものにとどまる見込みです。
- 上記の部分返済と並行して、個人投資家からの資金調達やデータベースおよび事業売却によって返済原資を確保するよう貸付先グループに要請しておりますが、いずれも具体的な進展は確認できておらず、本ファンドシリーズの全額の返済には相応の時間がかかる見通しです。

本ファンドシリーズにおいて報告すべき事象が起きた際には、速やかに投資家の皆様に報告いたします。今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号